



「図書館はどんな世代にも情報提供ができ、うまく活用してもらうと非常に楽しくて有益な場所です。利用して下さっている方はもちろん、まだ利用したことのない方々に足を運んでもらうきっかけになってほしいです。また小さなお子さんの「図書館デビュー」の日にもなったらとても嬉しいですね」と玉手箱に込める期

**新企画盛りだくさんの今年の玉手箱**  
4月22日(土)、23日(日)の2日間にパワーアップして開催される今年の玉手箱は新たに3つのメニューが登場。1つ目は「本の修理体験」。剥がれたり破れてしまっている本の修復も図書館司書の大切な仕事の一つ。この企画では子供達にそういった修復を体験してもらうことで本を大切にするという心を育ててもらいたい思いが込められているという。そのほかにも愛知教育大学人形劇サークルによる『としょかん人形劇』や「スタンプラリー」が新登場。

**新企画盛りだくさんの今年の玉手箱**

のボランティアサークルが加わると共に、「ブックツリー」や「読書通帳作り」など新たな企画も登場。さらに入口にはお手製の華やかなバルーンアーチが設置され、見た目も中身もより充実し、それに比例するように来館者数も増えていった。



北名古屋市東図書館  
北名古屋市熊之庄御櫛53番地  
TEL 0568-25-3600

**来館して読書通帳を作ろう!**



A3の紙を折ったりして読書通帳を作ることができるよ。中には読んだ本のタイトルや感想、積み立てたページ数を書き込むスペースがあり、読書記録が30冊たまった通帳を持って受付カウンターへ持っていき「満期」のハンコがもらえるよ。自分だけのオリジナル読書通帳を開通してみよう!



待を話してくれた今年の担当の横山侑典さん。  
図書館のスタッフたちとたくさんの人々の協力によって作り上げる一大イベント。今年の開催も楽しみだ。

**巻頭特集**

図書館をより身近な場所に感じてほしい

**図書館は 2017 玉手箱!**

4/22(土)・23(日)

北名古屋市図書館

北名古屋市図書館で2014年から年に一度開催されている「図書館は玉手箱」。毎年新たなメニューを盛り込んで、パワーアップ!来館した人々を楽しませてくれる。今年はどうな形で私たちを出迎えてくれるのだろうか。



**図書館は玉手箱!2017 スケジュール**

4/22 土	お話しコーナー	ストーリーテリング はるの会 10:30~11:00 おはなし チャチャチャ 11:00~11:30 おはなしグループ くるんぱ 11:30~12:00 おはなしグループ コキユポット 13:00~13:30 朗読クラブ いっぽ 13:30~14:00	お話しコーナー	おはなしグループ コキユポット 10:30~11:00 紙芝居の会 ささやき 13:00~13:30 映画会 10:00~10:30 読書通帳作り 10:30~12:00 13:30~15:00 [本のお医者さんになろう] ~本の修理体験~ 11:00~11:45 13:30~14:15 愛知教育大学人形劇サークル [じゃんけんぼん] 13:30~14:30 <b>先着120人</b> スタンプラリー 10:00~12:00 13:00~15:00 ブックツリー	4/23 日
	2階会議室2	紙芝居の会 ささやき 14:00~14:30	2階会議室2	紙芝居の会 ささやき 13:00~13:30	
	1階受付	司書体験 ※事前申し込みが必要 10:00~11:30 13:30~15:00	1階入口前	読書通帳作り 10:30~12:00 13:30~15:00	
	2階会議室1	ワークショップ 10:00~11:30 13:30~15:00	1階入口前	[本のお医者さんになろう] ~本の修理体験~ 11:00~11:45 13:30~14:15	
	1階受付	スタンプラリー 10:00~12:00 13:00~15:00 ブックツリー	2階視聴覚室	愛知教育大学人形劇サークル [じゃんけんぼん] 13:30~14:30 <b>先着120人</b>	

※当日のプログラムは変更となる場合があります。

**建物全体を使ったイベント 図書館は玉手箱とは**

年間を通して様々なイベントを開催している北名古屋市図書館。その中でもボランティアの皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリング、ワークショップなど様々なメニューが詰まった「図書館は玉手箱」は年々来場者を伸ばす大人気イベントである。  
今年で4回目を迎える玉手箱イベントを開催したきっかけについて、「子どもたちが積極的に読書活動を行う意欲を高める日という、子供読書の日は4月23日に制定されています。北名古屋市図書館でも読書活動を推進できるようなイベントを何か開催できないかと当時のスタッフたちと皆で企画したのが始まりでした」と話すのは北名古屋市図書館の市橋芳則館長だ。  
話し合いの末、協力を仰いだのが地元のボランティアサークルの方々。というのも、北名古屋市図書館では従来から定期的にいくつかの地域のボランティアサークルの方が読み聞かせや紙芝居を行って来ていたからだ。  
こうして多くの力を一つに集結して「図書館は玉手箱」に見立てて、丸1日楽しんでもらえる日にするこ

**どの時間帯でも楽しめる プログラム作り**

とを目標に掲げ準備が始まった。初年度4月の開催に向けて前年の11月頃から始まった準備の一番の課題は、どの時間帯に来館してもらっても楽しめるよう、1日の中にどれだけ企画を詰め込むか、ということだった。ボランティアの方々との読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングの他にも何も開催されていない時間がないよう、オリジナルのしおりやブック型消しゴム作りができるワークショップや、一日通してクイズを解きながら館内を探検できるクイズラリーが企画された。  
当日の様子について市橋館長は、「初回なのでどうなるかと思いましたが、子供たちが楽しそうにしている様子を見ることができて安心しました」と振り返る。  
また当初の目標であった「丸1日楽しんでもらえる日」についても、「普段はそんなに長時間滞在することは無いと思いますが、この日は午前中だけでなく、午後からもまた来館して、クイズラリーの続きや午後からのプログラムに参加してくれる子どもいました」と試行錯誤したスケジュールの甲斐があり大成功に終わった。翌年には新たなこ

